**第4学年3組　国語科学習指導案**

**１　単元名・教材名**　調べたことを整理し、発表しよう

**２　本時の学習指導**（本時3/13時）

（１）目標

　〇相手意識や目的意識をもち、「関わり合い」について調べたいことと、その具体的な内容を決めることができる。

（２）評価規準（1時間の授業に即した具体的なもの）

|  |
| --- |
| ア　国語への関心・意欲・態度 |
| ① 学習の見通しをもち、 進んで取り組もうとしている。 |

（３）展開(〇は指導上の留意点　　　　内は評価を表す)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 学習内容 | 指導と評価の創意工夫 | 時間 |
| １　前時の学習を振り返る。２　本時のめあてを確認する伝える相手と目的とをはっきりさせて、自分の課題を決めよう。３　どんなことを調べて発表したいか、各自の課題を決める。〈予想される児童の反応〉・展示はどのように打ったり、読んだりするのか。・ルイ＝ブライユとはどのような人物か。・点字以外の目の見えない人のための工夫にどんなものがあるのか。・ユニバーサルデザインとはどのようなものか・４　設定した課題に即して、具体的な調査内容を決める。〈予想される児童の反応〉・いつごろからあるのか・どんなところで、どんな人が、どのように使うのか・それがあると、どんな点で便利なのか・それがあることで起こる悪いことは何か５　学習を振り返り、次時の見通しをもつ。 | ・前時の振り返り・本時のめあて・課題の設定・相手意識をもつ・目的意識をもつ・自分の課題について考えを深める（ワークシートによる考察）「誰もがよりよく関わり合う」ということについて考えを深めるのにふさわしい課題と、調査内容を設定していれば「おおむね満足できる状況である」と判断できる。・学習の振り返り・次時の見通し | 〇前時に共有した内容をもう一度いくつか板書する。これは、３の活動で悩んでいる児童の補助となる。〇相手意識と目的意識を明確にする。　（相手）クラスの人たち　（目的）「だれもがよりよく関わり合う」ことについて考えを深めるため〇相手や目的を意識して課題を設定することができるよう、ワークシートを用意する。〇前時で取り上げた「点字」や「目の不自由な人のために工夫」以外にも「よりよく関わり合うこと」に関連していればよいことを伝える。〇ワークシートの手順通り、まず初めに気になることをいくつか挙げるようにし、その中から課題を選ぶようにする。〇悩んでいる児童には、前時に出された中から選んでもよいことを伝える。〇調査内容を具体的に考えておくと、次時以降の活動をスムーズに進められることを伝える。〇自分で考えるのが難しそうな児童が多数いる場合、よく考えられている児童のワークシートを提示し、参考とする。〇「誰もがよりよく関わり合う」ということについての課題が設定できたか確認する。〇次時より調べ学習が始まることを確認する。〇本などの資料を用いて調べ学習を行うことを予告しておき、自分でも資料の目星をつけておくよう指示する。 | 4´4´15´20´2´ |

|  |  |
| --- | --- |
| 次時の学習内容 | 本時で設定した課題についての調べ学習を行う。 |

**３備考**　在籍児童数　35名